

社長の経営哲学の構築にお役立ちする

税理士法人 優和

経営者への活きた言葉

TEL 03-3455-6666
FAX 03-3455-7777

経営者への活きた言葉

海洋汚染問題（その2） ジャック・アタリ（フランスの経済学者・思想家・作家）

1. 使い捨てのプラスチック製品を減らすには、複合的な政策を打ち出す必要がある。たとえば、石油の利用に課税し、すべての製品に関してリサイクルを強く推進するフランスのC I T E D（循環型経済モデルを提唱するコンサルティング企業）の取り組みがモデルになるだろう。
2. 私はこれらの活動を将来世代の利益に資する「ポジティブなスタートアップ」と呼んでいる。イノベーションのカギとなるのは、新たな素材の開発やバイオミメティクス（生物模倣：自然のシステムや生物からヒントを得て考案された科学技術）だろう。
3. 日本は、リサイクルできないプラスチック製品の利用をやめるために、消費と生産の形態を大きく変えなければならない。これは海に依存する日本のような国にとって死活問題となる。特に、海洋汚染の漁業への影響は深刻だ。（海洋国家である）日本は世界最先端モデルになれるはず。海洋汚染問題への取り組みは将来的に大きな市場になるため、日本にとってビジネスチャンスにもなるだろう。

（参考：「週刊東洋経済」2018年11月3日号）

経営者のための理念・哲学

自分の才能は社会のために使う

稲盛 和夫（京セラ名誉会長）

1. 京セラという会社を経営するのは何も私ではなくても、別の方であってもいいのです。つまり神様が経営の才能をもつ人間を無造作に決めたうちの一人が、偶然私だったというだけです。神様が私に対して「集団のリーダーになれ」と命じたのであれば、その才能を社会のために使わなければなりません。自分の才能を自分だけのものと錯覚して、自分だけのために使ってはならないと思います。
2. 世の中の一部の人がリーダーである必然性があるとすると、それは神様がリーダーの存在を必要だと認めて才能を与えたのです。だから、社会に向けてその才能を使うべきであって、個人的な欲望のために使ってはならないと思います。

（参考：「週刊ダイヤモンド」：2018年10月20日号）

ワンポイント経営アドバイス

高利益率を生み出す新製品主義

1. ヒロセ電機が特異なのは成長力というより、収益力が際立って高いところにある。ここ5年の経常利益率の平均は26%。自己資本比率は約90%。創業者の後を継いで1971年から30年近く同社を率いた故・酒井秀樹氏が徹底した「効率経営」が強さの源泉だ。その考え方は今もぶれていない。
2. 2012年から社長を務める石井和徳氏は「経営利益率が20%を切るなんて許されない。30%の利益率を目指している」と言い切る。高利益率を生み出すのが新製品主義だ。売上高に占める新製品の割合は30%超。付加価値の高い新製品を送り出しながら、コモディティー化して価格競争に陥り、一定の収益が取れなくなった分野からは潔く撤退する。

（参考：「日経ビジネス」2018年10月15日号）

古典に学ぶ

円満が過ぎると品位がなくなる

（解説）人には老いたると若いとの別なく、誰にでもこれだけの不円満なところがぜひあって欲しいものである。しからざれば人の一生も全く生甲斐のない無意味なものになってしまう。いかに人の品位は円満に発達せねばならぬものであるからとて、余り円満になり過ぎると過ぎたるはなお及ばざるがごとし、論語の先進篇にも孔夫子が説かれているとおりで、人として全く品位のないものになる。

（参考：渋沢栄一「論語と算盤」：国書刊行会）